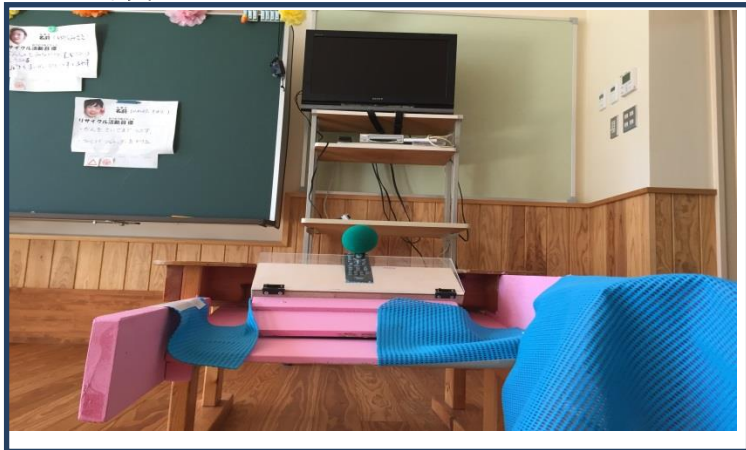


教材・教具名： 一人で座ってスイッチ ON!

製作者： 森田

主な使用場面・領域・教科等： 自立活動

<図・写真>



<材料・製作方法等>

・以前からある自作された机を用いて制作に当たった。リモコンが見えるようアクリル板を使いスイッチを制作。角度をつけて設置した。

・一人で座ることができるよう横にサポート板を取り付けた。

<ねらい>

- ・手元を注視しスイッチ操作する。因果関係を理解する。
- ・あぐら座位姿勢を保持することができる。

<指導方法・留意点等>

- ・一人で座って TV を視聴できるという自己達成感をもたせるために、生徒の横に添わないで教師が距離をおいて見守る場面をつくるようにしている。その際は、転倒することもあり得るため後方にクッションを置いている。
- ・できるだけ長い時間あぐら座位の姿勢を保ち、DVD を視聴できるようにしたいと考えるが、リハ担当さんとの連携を図り、コルセットを使用した理想のあぐら座位姿勢や座位の時間なども今後、検討するようにしたい。

<指導経過・成果・課題・展望等>

〈意欲・態度・成果〉

- ・本教材・教具を制作するまでは、私を見てくれないこともある思春期真っ盛りの Y さんであったが、DVD 視聴できる教材・教具を制作し使用させることでだんだんと自分を受け入れてくれるようになった。自活の時間になると笑顔で迎えてくれることもある。(*^o^*)
- ・初めて目にするスイッチということでスタートした頃は、よく理解ができていなかったが教師が手本を示すことで方法が分かり積極的に手を動かすようになった。
- ・早く DVD 視聴したいという気持ちがあり、スイッチを押そう押そうとする姿が見られる。
- ・集中して TV を見ることで姿勢を崩さず長い時間（10 分程度）あぐら座位がとれる。

〈展望〉

- ・帰省時などに少しでも一人で座って TV 視聴を楽しんでほしい。

